

第3回 浜松市教育研究会 算数科研究部研修会のお知らせ

- 1 日時 令和6年10月30日(水)
- 2 会場 静岡大学教育学部 附属浜松小学校
- 3 日程及び内容

- (1) 受付 13:30~13:50
- (2) 授業 14:00~14:45

学年	単元名	授業者	助言者	場所
2年	はこの形	新田陽平(有玉小)	杉山 友里 校長(鴨江小)	2年2組
5年	単分量あたりの大きさ	中村佳樹(泉小)	大橋 健一 指導主事	5年2組

※ 写真・ビデオ撮影は御遠慮ください。

☆ 授業のみどころ(小学校) ☆

2年生「オリジナルケーキを入れる箱をつくろう(はこの形)」新田陽平先生

ケーキを入れる箱をつくる場面で箱の形になる面のつなぎ方を考える学習を計画しています。箱の形になるつなぎ方と箱の形にならないつなぎ方を整理することで、箱の形の構成を考える授業を行います。活動を通して辺や面の位置関係に着目し、箱の形の特徴を捉えられるようにしたいです。

5年生「比べよう ~〇〇なのはどれ?~(単分量あたりの大きさ)」中村佳樹先生

「単分量あたりの大きさ」の導入を公開します。豆拾い競争の結果から誰が一番上手なのかを比べる授業を行います。設定された時間や豆の数が違う中、二量のうち一方を揃えれば比べられることに気付かせたいです。

- (3) 分科会 15:00~16:30

4 持ち物

- 事前に送られる資料、上靴、

5 その他

- 今回の役員当番部会は、2・3部会です。集合は13:00になります。2・3部会の先生方には詳細をミライムにて別途お知らせしますので、よろしくお願いいたします。
- 今回は附属浜松小・中学校の駐車場をお借りしていますが、敷地内の工事の日程により入り口や駐車場所が変わります。後日、ミライムにて案内いたしますので、ご確認の上お越しください。なお、駐車時は児童生徒の移動と重なる場合がありますので御注意願います。

担当 広沢小 馬淵 達也

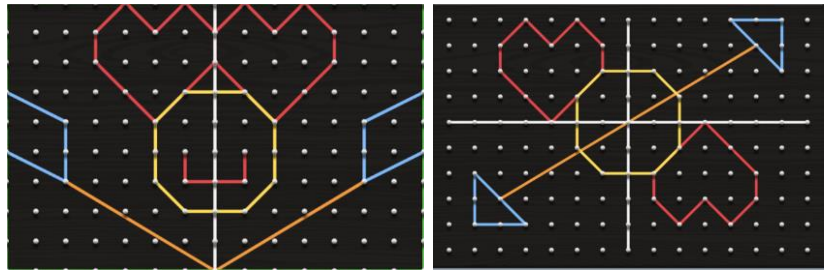
ICT を活用した算数授業

浜松市立大瀬小学校 松原 由梨

ICT の良さの1つとして、何度も簡単にやり直せることがあります。6年生の単元「対称な図形」で、そんな ICT を授業でも上手に活用できないかと考えました。

単元の最終目標を、「対称な図形を使ったマーク作り」とし、導入段階で教師が作ったマークを紹介する際、白紙や方眼紙に描いたマークや「Geoboard」というインターネット教材で作ったマークを見せ、自分に合った方法でマーク作りができるようにしました。「Geoboard」をいつでも自由に使えるように、クラスルームにURLを貼り付け、授業を進めていきました。興味をもった児童は、休み時間にも、対称な図形を作って遊ぶ姿も見られました。単元最後の「マーク作り」の授業では、方眼紙に挑戦する児童、「Geoboard」で案を作ってから方眼紙に描き写す児童、「Geoboard」でのマーク作りで精一杯の児童と様々でしたが、全員対称な図形のマーク作りを行うことができました。「Geoboard」は何度も作り直せるため、友達のを参考にしながらどの児童も楽しく活動することにつながりました。中には、「Geoboard」で作成することで、なんとなく対称なマークが完成してしまった児童もいました。その児童は自分のマークが線対称なのか点对称なのか、そもそも対称になっているのか理解できていませんでしたが、友達との交流を通して（なんとなく出来上がった）そのマークに実は対称な部分が含まれていることに気付き、対称な図形について理解を深めることができました。

今後も児童の理解を深める手立てとして ICT を有効に活用していきたいと思っています。



算数科の学習はいろいろな考え方があっておもしろい「ジャマイカ」

浜松市立神久呂小学校 太田 将仁

算数科の学習、主に計算領域では、答えが1つですが、それを導くまでに多くの考え方や式があります。そのことが、算数科の学習のおもしろさの1つだと考えます。

ジャマイカ（図1）とは、5つの数字（図1の白いダイスの数）を加減乗除して、目標の2桁の数字（図1の2つの黒いダイスの和）となる数字を作るというものです。例えば、⑤、④、⑥、⑤、②を使って $20+2$ で 22 をつくるには、 $(6 \times 5 + 4) \div 2 + 5 = 22$ になります。



実際の取り組みでは、一人一人が自分で考えて、ミライシードのオクリンクに提出して、みんなの意見を共有し、何種類の式に分けられるのかを考えました。

- ① $(6 \times 5 + 4) \div 2 + 5 = 22$
- ② $5 + 2 + 5 + 4 + 6 = 22$
- ③ $6 \times 4 + 5 - 5 - 2 = 22$
- ④ $(5 + 5) \times 2 + 6 - 4 = 22$
- ⑤ $5 + 6 \times 4 - 2 - 5 = 22$

③や⑤のように、一見違うような式でも、意味は同じものもあるので、同じである理由を考えさせました。

「 $6 \times 4 = 24$ で $24 - 2 = 22$ にして、2つの5を $5 - 5 = 0$ でなくしました。」と導くことで深く考察することができました。

児童にアンケートをとった結果（図2）、学習後に「肯定的な意見」が95%となり、学習前に比べて、17%程度向上しました。そのため、ジャマイカを使用した学習は価値があると思いますので、これからも継続して使用し、算数科の学習はおもしろいと思える児童を増やしていきたいです。

